

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 にいろ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 4日		令和6年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		令和6年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に合わせた支援、型にはめることなくのびのびと過ごすことができる環境ができています。 また、2歳～18歳までのお子様年齢問わず関わりコミュニケーションが取れています。	YouTube視聴以外で、その子に合った遊びや課題を一緒に考えながら決めて行っています。 年齢により気持ちの相違もあるため職員が仲介しトラブルがないよう支援しています。	様々なプランを考えて、年齢問わず楽しめる内容の遊びや課題の提供。 その場でマッチングするものを提供できるように日々考えて準備をしています。
2	個別のマンツーマン対応ができています。	体調不良や、不穏時、苦手なお子さまと重なった場合などは、別室での個別支援ができています。 (音楽鑑賞・粘土・手遊び・読み聞かせ等) 安心感を持って帰宅時間まで過ごせるよう支援をしています。	別室でも退屈のない時間が過ごせるよう、療育課題や遊びのレパートリーを増やしていきます。

3	<p>保護者様からの希望や要望を重視し、個別支援計画に取り組み他事業所や学校と連携し統一した支援に繋がっています。 (トイレトレーニング、姿勢保持、認知行動等)</p>	<p>様々な方向からの視点で観察し、苦手か得意かを見極めて情報共有しながら次のステップに進めるよう支援しています。</p>	<p>職員間の情報共有、スキルアップにつなげるため利用者様1人1人への関わり方や観察を行うことを徹底する。</p>
---	--	---	---

	<p>事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>屋外での活動ができていない。</p>	<p>近くに公園などがなく天候不良などにより難しいことがある。 敷地内でのシャボン玉や近くのスーパーや土手まではお散歩コースとして行っているが冬は入れない箇所もあるため活動範囲が狭くなってしまう。</p>	<p>外へ出るのが難しいお子様もいるため個々に配慮してその子に合った屋外活動を取り入れていきます。 時には、社用車を使用し少し先の場所まで行けるように工夫していきます。 安全面を考えて職員の確保も重要視していきます。</p>
2	<p>情報発信、情報の共有不足</p>	<p>毎月の通信と年2~3回程の管理者発信のおたよりのみになっている。</p>	<p>通信は内容を変えて、その時の情報やイベントを組み込んでいくようにする。 また、1年に1回月別の行事表も配布します。</p>
3			